



新しくお見えになった先生方のオススメ本📖✨

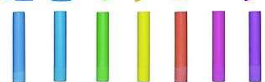
上山 万里子校長先生のオススメ本★

『忘れかけていた大切なこと』
〈著者〉渡辺和子 〈出版社〉PHP文庫

「ほほ笑み1つで生き方が変わる。自分の一歩踏み出す勇気や優しさ、ちょっとした一言で、みんなも笑顔に包まれる。」多少の困難があっても、立ち向かうヒントに満ちたエッセイ集です。



虹色のチョーク



働く幸せを実現した町工場の奇跡
Narumi Komatsu
小松成美

左口 邦彦先生のオススメ本★
(社会科、1年学年主任、男子バスケットボール部)

『虹色のチョーク 働く幸せを実現した町工場の軌跡』
〈著者〉小松成美 〈出版社〉幻冬舎

本校でも使用されているダストレスチョークは、社員の7割が知的障がい者である日本理化学工業で作られています。”日本でいちばん大切にしたい会社”と呼ばれるようになった会社とは、どのような企業でしょうか？マザー・テレサさんの「人として一番不幸なのは、誰からも必要とされない人である」という言葉の意味がわかる一冊です。

柿澤 志子先生のオススメ本★
(英語科、1年付、女子バスケットボール部)

『世界一わかりやすい英語の勉強法』
〈著者〉関正生 〈出版社〉KADOKAWA

スタディサプリの講師であり、勤務していた予備校で数々の記録を残し英語教育の革命児とも呼ばれる筆者が、プロの視点で英語の勉強法を提案してくれます。自分の英語学習のヒントにしてください。



ハチドリのはとしづく
いま、私にできること



17種の物語に世代を越えた共感の輪が広がっています。
私たちはいま、
地球温暖化という大問題に直面している。
ハチドリのお話のなかの描かれている事は、
地球のことなのだ。

金沢 由美先生のオススメ本★
(英語科、33HR副担任、弓道部)

『ハチドリのはとしづく～いま私にできること～』
〈著者〉辻信一 〈出版社〉光文社

南アメリカの先住民に伝わるお話です。「1羽の小さなハチドリが森火事を消すために一滴ずつ水を運びますが...。」日常の様々な場面で、「私にできることは何だろう」と考えるきっかけになればと思います。

望月 瑠希也先生のオススメ本★
(数学科、11HR 副担任、男子サッカー部)

『休養学』
〈著者〉片野秀樹 〈出版社〉東洋経済新報社

「休養は7種類に分類できる」としたら、どのように分けられるのか気になりませんか？人はなぜ疲れるのかを理解し、そこから自分に合った休み方を見つけられるので、疲れているあなたにオススメです。



羽根田 那音先生のおすすめ本★
(福祉科、15HR副担任、ダンス部)

『おおかみこどもの雨と雪』
〈著者〉細田守 〈出版社〉角川文庫

狼男と人間の間にも生まれた雨と雪の葛藤と、強く温かく二人を見守る母の姿を豊かな自然とともに表現する話です。原作である映画の美しい映像も魅力的ですが、小説でじっくりと世界観を味わうこともおすすめです。

船橋 勇先生のおすすめ本★
(福祉科、25HR担任)

『俺たちの箱根駅伝』
〈著者〉池井戸潤 〈出版社〉文芸春秋

寄せ集めの連合チームが箱根駅伝に向け、様々な困難を乗り越えながら団結するストーリーです。エリートではない選手の苦悩や仲間、指導者との関係性の変化も面白いです。秋にはドラマ化される一冊です。



村瀬 晴音先生のおすすめ本★
(福祉科、25HR副担任、女子バレーボール部)

『自閉症の僕が跳びはねる理由』
〈著者〉東田直樹 〈出版社〉角川文庫

この本に出会ったきっかけは、障害当事者の気持ちを知りたいと本屋に立ち寄ったことでした。自閉症の内面を当事者の言葉で知ることができ、理解を深めるきっかけになる一冊です。ぜひ皆さんにも読んで頂きたいです！